



わたしは、だ〜れ②



学校教育目標「夢に向かって 心豊かに たくましく生きる子ども」
～“自分で考え みんなと創る” 楽しい ふるさとの学校～



体験学習 真っ盛り！ その2

前回は紹介した、ふるさとでの体験学習。その中で、横堀小学校No. 1の体験学習が5年生の「保呂羽山宿泊体験学習」です。去年は、やむを得ず日帰りでしたが、今年は、高梨小学校の5年生と合同で実施することができました。山奥でのカヌーや野外炊飯に、ナイトハイク等、大自然の中で、ますます「なかよし9人組」の絆が深まりました。



↑「自然の家」の所長さんからいただいたスナップ写真です。みんな“いい顔”です。



帰りのバスは全員爆睡！「体力の限界っ」
みんなの素敵な？寝顔の写真がありますが、
学校報に載せることは控えてあげますね。

2年生 生活科「まちたんけん」学校のまわりには・・・？！！



「ポリミート」「横堀自動車」「JAのガソリンスタンド」「郵便局」学校の周りにある、いろいろな工場と施設を四つのグループに分かれて見学しました。

作られている「モノ」にびっくり！ていねいに教えてくれる「人」に感謝♡地域での学びは、ふるさとを愛する心情に、ストレートに影響します。染み渡ります。

そして、今回の勉強では、右の写真のお二人の協力もいただきました。「とっても楽しかった。勉強になるっ。」と、帰ってきました。歩人さんのおばあさん、禾音さんのお母さん、本当にありがとうございました。



4年生 「菜の花タイム」(障がい者、高齢者の疑似体験学習)

本校では、4年生になると、総合的な学習の時間に「福祉」をテーマとした学習に取り組んでいます。

7月2日(金)には、大仙市社会福祉協議会などから10名もの方々にお越しいただき、「目の不自由さの体験」「おもりやヘッドホンを付けた高齢者体験」「車椅子体験」の三つの疑似体験ができました。その中で、介助する役と介助してもらう役の両方を交代で体験できたことも貴重でした。

高齢社会の先進県とも言われている秋田県、しかも、本校の子どもたちの祖父母同居率は極めて高い、とても恵まれた家庭環境にあります。まさに、毎日が“共生社会”というリアル体験実行中の子どもたちですが、改めて『自分で体験すること』ができて、さらに“やさしい心”が育まれました。



ボランティアで協力してくださったのは、風登森一教育委員や、大河洋子さんと高野ルミ子さんの学校評議員の方々。杉澤勇世さんや加藤恒盛さんの民生委員、そして、地域学校協働活動コーディネーターの今野順子さんなど、普段からお世話になっている、多くの方々にもご協力いただきました。皆さん、帰るときには「こういう子どもたち初めてだっ！」と、子どもたちのめんこさや素直さに心を癒やされたようです。実は、この心も、恵まれた横堀地域の家庭環境の中で育まれた宝物です。『心の育ち』が広がり、つながっています。

みんなのがんばり紹介

スポーツで、読書で・・・
自分の好きなことをがんばっています

2021年度U-12レインボーカップ(サッカー大会)
第4位(ベスト4)敢闘賞 大仙SC 6年生 小林 敬悟さん

大仙市子ども読書通帳 200冊賞 2年生 伊藤 篤孝さん

